

公表:令和 5 年 1 月 31 日

令和4年度 放課後等デイサービスげんき安東

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いいない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------------------|----|---|------|---------------|------|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 100% | 0% | 0% | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 100% | 0% | 0% | ・配置基準以上の職員で対応している |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 100% | 0% | 0% | ・転倒等による怪我がないように配慮している |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 25% | 50% | 25% | ・常勤、非常勤問わずたくさんの職員が参加できるようにミーティング等機会を増やしていく |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 100% | 0% | 0% | ・改善に努めている |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 100% | 0% | 0% | ・ホームページ、事業所にて掲示している |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 0% | 0% | 100% | ・現在は行っていないが、関係機関に調整中 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 75% | 25% | 0% | ・SST研修、強度行動障害支援者研修、同行援護支援者養成研修等計画的に実施している |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 88% | 13% | 0% | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 63% | 38% | 0% | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 38% | 50% | 13% | ・活動内容を定めるミーティングを行い、活動内容を決定している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 25% | 75% | 0% | ・プログラムが固定化しないように、内容を毎回検討している ・個々に応じて工夫している |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 63% | 38% | 0% | |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 88% | 13% | 0% | ・保護者と面談を行い、最長6か月毎に計画書を作成している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 38% | 63% | 0% | ・毎日ミーティングを行い、役割を確認している |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 38% | 63% | 0% | ・送迎時間の関係で当日の振り返りが難しい為、後日必ず行い共有している |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 75% | 25% | 0% | ・個別支援記録に記入し、日々のミーティングなどで伝えている |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|------|-----|-----|---------------------------------|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 100% | 0% | 0% | ・3～6か月毎にモニタリングを行い、計画内容の見直しをしている |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・日常生活動作、創作活動、余暇の提供等を行っている |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 100% | 0% | 0% | ・児童発達支援管理責任者が参加している |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 63% | 38% | 0% | ・管理者を中心に情報共有できるよう努めている |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 0% | 88% | 13% | ・該当児がいる場合は行っている |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 25% | 50% | 25% | ・該当児がいる場合は行っている |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 13% | 75% | 13% | ・情報提供の要請があれば情報を提供している |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 38% | 63% | 0% | ・必要に応じて行っている |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 25% | 50% | 25% | ・感染症予防のため令和4年度は見合わせている |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 63% | 38% | 0% | ・地域の連絡会や研修に参加している |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 63% | 38% | 0% | ・連絡ノート、面談、送迎時などでお伝えしている |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 38% | 63% | 0% | ・希望があれば外部の研修を紹介している |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 88% | 13% | 0% | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0% | 50% | 50% | ・感染症予防のため令和4年度は行事参加へのお誘いをしていない |

| | | | | | | |
|---------|----|---|------|-----|-----|--|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 88% | 13% | 0% | ・苦情があった場合を想定し、苦情解決窓口を設置し、丁寧に対応できるよう準備している |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 38% | 63% | 0% | ・毎月の行事予定おたよりを発行している |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 100% | 0% | 0% | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 100% | 0% | 0% | ・個々に応じて配慮している |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 0% | 63% | 38% | ・感染症予防のため令和4年度は見合わせている |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 63% | 38% | 0% | ・緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを作成し事業所にて閲覧可能にしている |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 100% | 0% | 0% | ・月に1回様々な災害を想定した避難訓練をプログラムに取り入れている |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 100% | 0% | 0% | ・社内外の講師を招き、研修を行っている |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 100% | 0% | 0% | ・身体拘束を行ったことはないが、必要に応じて計画書に記載し、保護者様に説明、了解を得た上で行う |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 0% | 75% | 25% | ・フェイスシート、指示書を基に対応している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 100% | 0% | 0% | ・事例集を作成し、事業所で共有している |

提出期限回答分を100%とする。